

登録コード	E4340901	開講年度	2026				
授業科目	生活科指導法基礎B					担当教員	谷内 祐樹
英文授業名	The Elements of Teaching Method of Life Environment Studies					副担当	林 寛平
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生	
講義室	教育図書2階講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	児童の多様性に関心をもつとともに, 児童に寄り添うことの意義を理解している。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	生活科の理念に基づく子ども観や指導観及び指導上必要な知識と技能を習得することで, 児童の豊かな学びを具現化する小学校生活科の授業が構想できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、生活科の理論的な背景から実践的な事例まで幅広く取り上げる。 生活科は、体系化された学問を背景に持つ他の教科と異なり、学習者が対象に主体的に働きかけ、問題を発見し、自ら解決する姿勢を求めるという特徴がある。したがって、本授業では、受講生が主体的に問題解決を図ろうとする姿勢を習得していくことを期待している。 授業内容としては、まず、生活科成立史や理念、教師の役割などについて基礎的な知識を学ぶ。さらに、実践事例の検討を通して、児童の学びや教師の支援のあり方について考える。また、体験的活動や事例紹介に基づいて、指導計画の作成やグループによる検討を行う。						
(5)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回：生活科の目標と内容 第3回：学びのゆくえ①【オンデマンド】 第4回：学びのゆくえ②【オンデマンド】 第5回：生活科の授業づくり① 第6回：生活科の授業づくり② 第7回：生活科の授業づくり③ 第8回：生活科の授業づくり④ 第9回：生活科の授業づくり⑤ 第10回：事例に学ぶ① 第11回：事例に学ぶ② 第12回：事例に学ぶ③ 第13回：生活科指導におけるICT活用【オンデマンド】 第14回：まとめ・授業アンケート						
(6)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 ・各回の授業に関する小レポート（50%），期末試験（50%） ・評価割合は若干の調整を行う場合がある。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】生活科の学習指導に関する基礎的な知識と技能について、極めて高い水準にある。 【かなり上である】生活科の学習指導に関する基礎的な知識と技能について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】生活科の学習指導に関する基礎的な知識と技能について、高い水準にある。 【認定水準にある】生活科の学習指導に関する基礎的な知識と技能について、一定水準にある。						
(8)事前事後学習の内容	資料を事前に読んで感想等を提出する場合がある。 授業の感想等を事後に提出する場合がある。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問や相談等はメールで連絡をすること。 yachi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	牛山榮世著 信州教育出版『学びのゆくえ：実践者牛山榮世の軌跡』						
【参考文献】	文部科学省『小学校学習指導要領解説 生活編』						